

キッズサポーター 随時、募集中!

認知症の正しい理解が
地域を支える大きな力に



学習指導要領に基づき、
認知症の当事者を含む
高齢者への理解を深め
るための教育に活用で
きます

受講者証が
もらえます

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは?

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を見守る「応援者」のことです。成人の方はもとより、人格形成に重要な時期である児童期～青年期の方にもお勧めの講座です。認知症の人や家族に優しく寄り添える人が増えることで、「認知症になっても安心して暮らせる八戸市」の推進につながります。

認知症サポーター養成講座のおすすめポイント

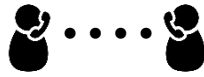
その1

費用無料

0円

講師料・テキスト代なし!

その2



講師の調整は事務局に
お任せでOK!

その3

【標準時間】
小学生45分
中学生50分



授業の1コマで実施可能

その4



小・中学生向けの教材で
分かりやすい!

開催実績紹介

※H18年～R4年度統計

市内の小・中学校でも多数の開催実績
があります



旭ヶ丘小学校
(11回)



白銀中学校
(10回)



田面木小学校
(8回)



三条・白鷗小学校
(7回)

他にも、多賀台・多賀・西園・鮫・函南・
明治・高館・新井田・城北小学校、
明治・白山台・市川・中沢中学校など、
多くの学校で開催されています



申込み
問合せ先

介護予防センター ☎ 0178-38-0726 FAX 0178-38-0739
〒031-0011 八戸市田向三丁目6番1号(八戸市総合保健センター2階)
月～金曜日 8時15分～17時(祝日・年末年始は除く)



もっと知りたい！

認知症サポーター養成講座について

講座の内容

中学生講座の一例（50分）

【講話】30分

- ・認知症を理解する（症状や当事者の気持ちなど）
- ・認知症の人と接するポイント
- ・認知症サポーターの役割



【演習】20分（グループワーク）

- ・こんな時、どうする??
- ・実際に練習してみよう



親子体験学習や福祉体験学習の一環として

認知症サポーターキャラバンの象徴「ロバ隊長」の由来は？

認知症サポーターキャラバンのマスコット「ロバ隊長」は認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを、ロバのように急がず着実に歩みを進めるといった思いが込められています。

オレンジ色は認知症支援のシンボルカラーで“手助けします”という意味があります



超高齢社会

認知症の講座を推奨している理由は？

当市において、高齢者人口がピークを迎える令和22年頃には高齢者は74,000人を超え、そのうち24.6%が認知症になると推計されています。そうした状況を背景に認知症施策を推進することとしており、その大きな柱の一つ「認知症の普及啓発」に認知症サポーター養成講座を位置づけています。

キャラバン・メイトの協力

なぜ無料で実施できるのか？

より多くの学校に受講していただけるよう、小中学生向け講座のテキスト代は公費で負担します。また、講師である「キャラバン・メイト」は当事業の趣旨に賛同し、特定の研修を受けた介護施設や医療機関に所属する職員で構成されており、ボランティアで活動しています。

講座の申し込みから実施までのイメージ

相談、お申込み

電話またはFAX

- ・電話もしくは申込書（HP記載）をFAX
- ・会場は各学校で確保していただき、開催予定日の2カ月前までにお申込ください
- ・内容等、詳細はお気軽にお問合せください

日程調整

事務局・講師からの連絡待ち

- ・事務局が対応可能な講師を調整します（数日～1週間程度）
- ・後日、講師からご担当の方に連絡が入ります

実施

準備期間～講座当日

- ・日程変更の必要が生じた場合は、速やかに講師や事務局へご相談ください
- ・会場設営は学校側をお願いしております

初回特典

認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラクター「ロバ隊長」のぬいぐるみを贈呈！

※認知症サポーターボランティア「チームオレンジはちのへ」の方が、愛情を込めて製作したものです

